

思いや経験の共有とは？ 三宅島、三陸ジオパークとのシンポジウム、冊子作成を通して学んだこと。

What's the meaning of sharing the thought and the experience? The report what we learned through symposium in Izu-Oshim

西谷 香奈^{1*}; 白井 岩人¹

NISHITANI, Kana^{1*}; SHIRAI, Iwahito¹

¹ 伊豆大島ジオパーク

¹IZU Oshima Geopark

伊豆大島では国交省「広域共助事業」の一環として「この島に生きるために。ジオパークと防災 IN 大島」というシンポジウムを、2014年2月19日に実施した。シンポジウムでは、三宅島、三陸ジオパークから講師を招き、災害後の悩みや疑問にどう向かい合ってきたかの話しを聞き、思いを共有した。参加できない島民には、情報を平等に届けるため、講師の話しを中心とした小冊子を作成し、三宅島、大島の全世帯に配布した。災害は日本中どこにでも起こる可能性があるが、他地域間で、災害に立ち向かう取り組みや経験を共有することで、互いに学びあうことができると考えている。そして、シンポジウム、小冊子配布後の住民の気持ちの変化も含め、災害の際にジオパークのネットワークが果たす役割を考察する。

キーワード: ジオパーク, ネットワーク, 防災, 災害, 共有, 役割

Keywords: geopark, network, protection against disasters, disaster, jointly, a role